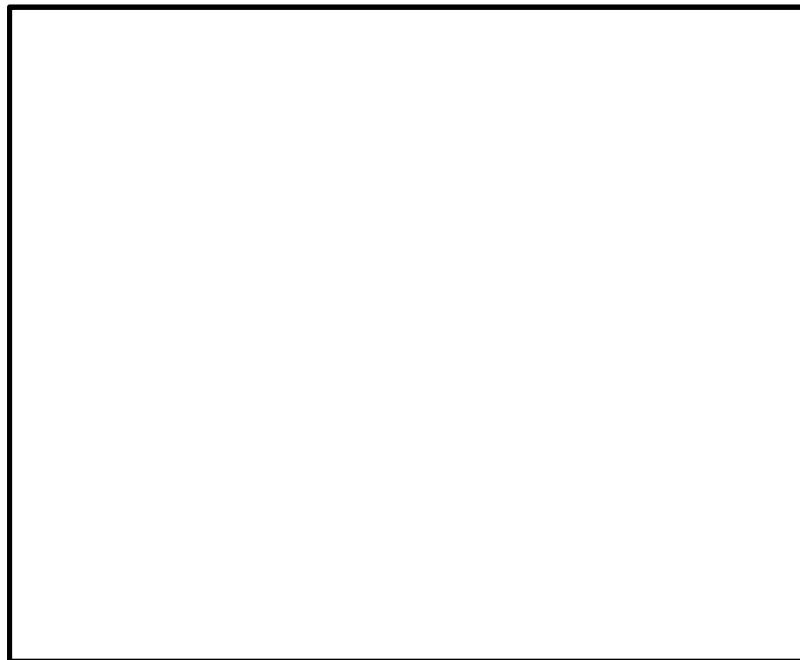


【論点ー3】 立坑構造物の解析モデル変更について(1/2)

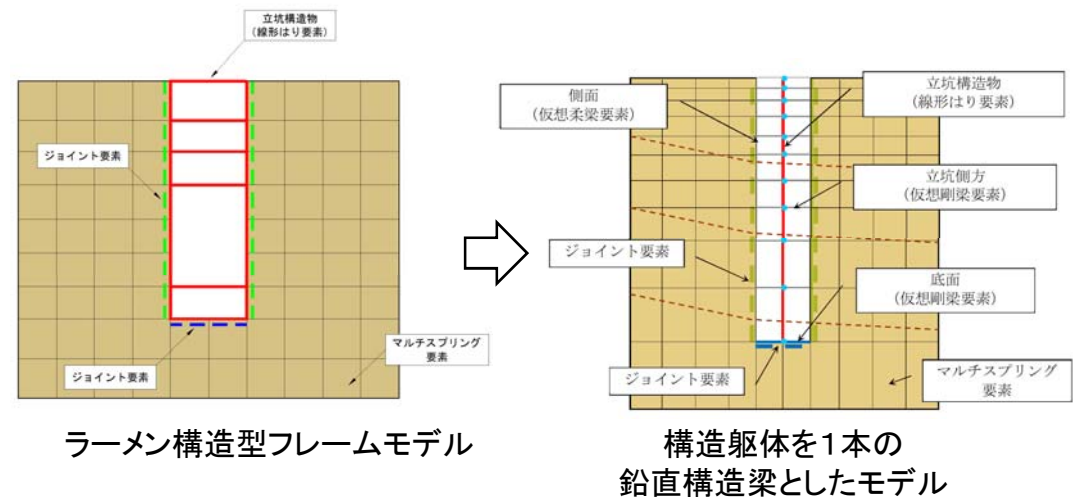
1. 概要

立坑構造の施設としては、円筒形のものとしてSA用海水ピット取水塔，SA用海水ピット，代替淡水貯槽がある。矩形のものとしては、常設代替高圧電源装置用カルバート(立坑部)，常設低圧代替注水系ポンプ室及び緊急用海水ポンプピットがある。

地震応答解析モデルにおいて、円筒形立坑は既工認プラントと同様に構造躯体を1本の鉛直構造梁としてモデル化し、矩形立坑はラーメン構造型フレームとしてモデル化を行っていた。しかし、既工認プラントと同様に1本の鉛直構造梁の解析モデルへ統一することが審査の円滑な進捗のために望ましいと判断し、矩形立坑については解析モデルの変更を行った。



屋外重要土木構造物の平面配置図



【論点ー3】 立坑構造物の解析モデル変更について(2/2)

2. 確認事項

- ・ 矩形の立坑構造物を円筒形の立坑構造物と同様の鉛直**構造梁**モデルに統一する

3. 確認状況

- ・ 矩形の立坑構造物を円筒形の立坑構造物と同様の鉛直**構造梁**モデルに統一した
- ・ **なお、当該構造物に開口が設置されることから、各部材の構造照査においては、開口部周りの局所的な応力に関しても、影響検討を実施する予定**

4. 今後の予定

- ・ 6つの立坑構造物に係る解析条件（基本方針）の説明は予定通り5月末までに説明する
- ・ 解析結果のうち、解析モデルの変更がない円筒形立坑は予定通り6月末までに提出する
- ・ 解析モデルの変更が伴う矩形立坑の解析結果は7月末までに提出する
（変更前の解析モデルにおいて実施していた耐震評価において、構造が成立する見通しを得ている）

説明スケジュール

		4月	5月	6月	7月
解析条件	6つの立坑構造物	説明			
解析結果	円形立坑 (解析モデルの変更がない 3つの立坑構造物)		計算	確認	
	矩形立坑 (解析モデルの変更が伴う 3つの立坑構造物)			計算	確認